

2部 言語と教育
1章 言語教育法・実技

1日本語教育とは

学習観

日本語教育の社会的意義と使命

変遷

行動／認知／構成主義

学習理論

行動心理学 刺激／反応／強化

認知心理学

状況的学習

レイヴとウェンガー 正統的周辺参加

ヴィゴツキー 発達の最近接領域

スキヤフォールディング

3コース・デザイン

レディネス／ニーズ

シラバス・デザイン

目標言語調査／目標言語使用調査

シラバス・インベントリー／コース・シラバス

先行／後行／プロセス

シラバス

構造／場面／機能／概念／話題／技能／タスク

4教材・教具

ビジュアル・エイズ

生教材／レアリア

ロールカード

物的／人的／社会的リソース

著作権

非営利の教育機関／教員または学習者がコピー／必要な部数のみ

5授業実施のサイクル

教師のビリーフ

授業構成・言語知識

ウォーミングアップ

導入／基本練習／応用練習

締めくくり

授業構成・言語技能

前／本／後作業

背景知識・スキーマの活性化

練習

正確さ／流暢さ

真正性

情報差／選択権／反応

MMC

ジグソー練習

ショー・アンド・テル

ドリル／パターン・プラクティス

キュー

模倣（リピート）

変換（転換／文法）

代入

拡大（拡張）

結合

完成

応答

教師の成長

ティーチング・ポートフォリオ

アクション・リサーチ

内省的実践家